

第1回鉄道ネットワーク・ワーキングチームフォローアップ会議 議事概要

1 日 時 平成29年7月31日（月）10時30分～12時00分

2 場 所 北海道庁本庁舎 3階知事会議室

3 出席者

区 分	職	氏 名
学 識 経 験 者	北海道大学大学院公共政策学連携研究部特任教授	石井 吉春
	北海道大学大学院工学研究院准教授	岸 邦宏(座長)
	北海道大学大学院経済学研究院教授	吉見 宏
J R	北海道旅客鉄道(株)専務取締役総合企画本部長	小山 俊幸
地 方 自 治 体	北海道市長会長（伊達市長）	菊谷 秀吉
	北海道町村会長（白糠町長）	棚野 孝夫
参 与	北海道運輸局次長	大立 康祐
	日本貨物鉄道(株)取締役兼執行役員	玉木 良知
北海道	北海道知事	高橋 はるみ
	北海道副知事	山谷 吉宏
	北海道総合政策部交通企画監	黒田 敏之
	北海道総合政策部交通政策局長	大内 隆寛
	北海道総合政策部鉄道交通担当課長	中尾 敦

4 趣旨説明等

- (1) フォローアップ会議の設置等について
○事務局から、フォローアップ会議の役割や今後の取組などについて説明
- (2) 構成員紹介
- (3) 座長選任
○岸委員を座長に選任

5 議事

事務局から、資料に基づき説明後、意見交換を実施

- (1) 鉄道WT報告後の主な動きについて
- (2) 地域における検討・協議について
- (3) 国の抜本的な支援について
- (4) まとめ

6 概要

- ・ 協議の状況については温度差もあるが、各々の線区の性格を踏まえた鉄道の必要性について地域でしっかりと議論を行うことが重要であり、今後、道が有する情報の提供や、有識者が地域入りして助言を行うことなどにより、客観的な検討を進めていく。
- ・ 国や道、地元も含め誰が費用を負担をするべきかという問題は、その先の段階で解決すべき事項ではあるが、必要性の検討と同時に議論を進めていくべきである。